

ふるさと探訪

第34回 実報寺



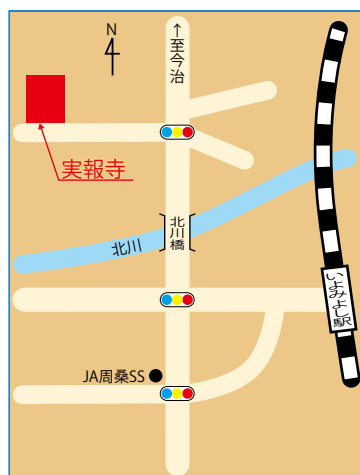
実報寺は、西暦640年舒明天皇が道後温泉に湯治の帰途、勅願により建立されました。開山は恵隠法師で、722年には行基、815年には空海も来山したと伝えられています。

実報寺には、3つの市指定文化財があります。

一つ目は「木造地藏菩薩立像」で、高さ約3メートルの大作です。腰のあたりには絵の具の跡もあり、昔は極彩色で描かれていたことを思わせます。厨子の扉は33年に一度のお開帳法要の時にしか開かれないため、普段はこの像を見ることができません。二つ目は「俊盛筆聖帝山来由記」で、貞観10(868)年に第11代住職俊盛上人が寺の縁起を記した巻物です。

三つ目は「一樹桜」で、この桜は旧境内の桜坊というところに植えられていた桜であると伝えられています。この桜の挿し木が、東京の森林総合研究所多摩科学園に全国の桜の名木60本の一つとして保存されています。染井吉野より早く咲くこの桜は、例年3月下旬には満開となります。

■住所 実報寺甲758
TEL 0898-16615468
■駐車場 あり(無料)



▼人口のうごき

人口 115,509人 (-89人)
男 55,327人 (-50人)
女 60,182人 (-39人)
世帯 46,984世帯 (+3世帯)

平成20年1月末日現在
住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)
- 民話テレホン 0897-52-1270 (常時)

▼編集後記

早いもので、私が広報さいじょうに携わらせていただくようになって1年が経過しようとしています。光陰矢のごとしはこのことでしょうか。

小学生の頃などは、明日でさえも遠くに感じていたように思います。遠足の日なんていいますと、待てど暮らせど当日がこない。そういう感覚で。とかく待ち遠しい。

きっと明日が楽しみだからなかなかきてくれないように感じる。それに比べると年を重ねるごとに月日の経過を早く感じます。好奇心をくすぐればきっと、もっと明日が待ち遠しくなる。

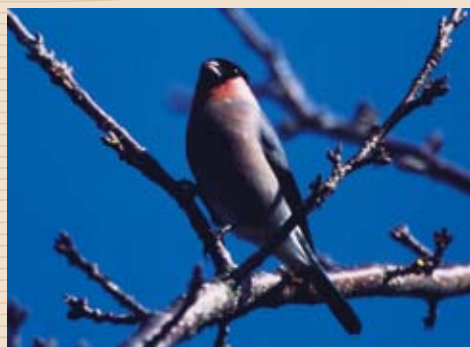
子どもの頃以来ひさしぶりにできた霜焼けをかゆがりながらそんなことを思いました。(い)

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No. 31 ウソ (冬鳥)

頭が黒く頬から喉にかけて紅色をしているのが雄、雌は灰色の地味な鳥です。太宰府天満宮で行われる木彫りのウソを交換する「鶯替」の神事に登場します。口笛を吹く意味の「うそぶく」が語源で、「フィー」と鳴く声を頼りに探します。西条では黒瀬ダムや八堂山で見られます。



撮影：十亀茂樹